(9) 日本国特許庁 (JP)

①実用新案出願公開

◎ 公開実用新案公報 (U)

昭56—21679

f)Int. Cl.³
F 16 L 19/08

識別記号

庁内整理番号 6333—3H ❸公開 昭和56年(1981) 2月26日

審査請求 未請求

(全1頁).

②喰込式管継手

②実 原 昭54-103899

②出 顧 昭54(1979)7月27日

@考 案 者 小賀敦郎

桑名市大福2番地日立金属株式

会社桑名工場内

@考案者加藤一三

桑名市大福2番地日立金属株式

会社桑名工場内

②考案者野村健二.

の実用新来登録請求の範囲

継手本体1の端部内面の管挿入部1dに連なつて形成したテーバ1bと継手本体1にねじ係合する袋ナット2の内周奥部の押圧部2bにより喰込スリーブ3を押圧して接続する管の外面に喰込ませる喰込式管継手において、管挿入部1dの奥部に管係止肩部1cを設け、該肩部1cと上記管の端部4aとの間に軟質弾性体より成るパッキン5を装着したことを特徴とする喰込式管継手。

図面の簡単な説明

第1図は本考案の実施例による喰込式管轄手の

千葉市柏井町1656--5

⑰考 案 者 今村実

東京都荒川区南千住3.-28-70

切出 頤 人 日立金属株式会社

・東京都千代田区丸の内2丁目1

番2号

切出 顧 人 東京瓦斯株式会社

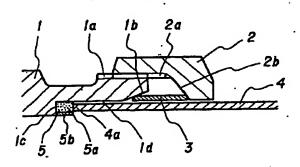
·東京都中央区八重洲一丁目2番

四代 理 人 北原大平

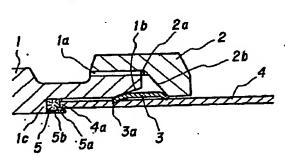
パイプ挿入後、ナット締付前の状態を示す要部の 縦断面図、第2図はナット締付後の状態を示す第 1図同様の図である。

1: 継手本体、「a, 2a: ねじ、2: 袋ナツト、 1b: テーパ面、2b: 押圧部、3: 喰込スリーブ、 3a: 先端部、4:パイプ、5: パツキン、5a: 軟 質弾性体、5b: 補強リング、1c: 管係止肩部、1・ d: 管挿入部、4a: 管端部。

第1回



第 . 2 図



BEST AVAILABLE COPY